

学校だより



平沼

横浜市立平沼小学校

平成30年6月29日

Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hirayama/>

できる楽しさから自己肯定感へ

校長 長谷川 絹子

カラカラカラカラ…氷の入った水筒を揺らしながら登校してくる子どもたちの姿や音は、夏の風物詩となってきました。特に月曜日の朝は、両手いっぱい荷物とともに夏ともなれば、水泳バッグも加わって一段と大荷物です。きっと重たいとは思いますが、大事そうに抱えて元気に登校する様子は、大変うれしいものです。

- ・ さいしょエイサーは大きらいでした。でもだんだんなれてきて、エイサーがたのしくなるとてもうれしかったです。ありがとうございました。
- ・ みなさんが教えてくださった動きで本番はおどったら、家族からすごくほめられました。練習中つらいこともあったけれど、しっかりエイサーの動きをおぼえることができました。
- ・ みなさんが教えてくださったおかげで、カッコいい平沼エイサー隊としておどれました。そして、お母さんから「すごくキラキラしていた。」と言われました。それは、みなさんが教えてくれたからに違いありません。
- ・ ぼくは、みなさんのおかげでお母さんやお父さんを感動させることができました。感謝しています。
- ・ 本番は、ゆめのようなしゅんかんでした。今まで注意されたこと、ほめられたことを全部出すことができました。時には、きびしいことも言われましたが、一回一回の練習が、今思うと小さな小さなゆめだったのかなと思います。エイサーの本番が終わってしまうと少しさみしくなりましたが、振り返ってみると、楽しさであふれていました。

これは、平沼カップでエイサーを演技した4年生から、ご指導いただいた隊長ソウルバンドの方へのお礼の手紙の一部です。どの子の手紙にも一生懸命に取り組んだ達成感や感謝の気持ちがいっぱい書かれており、大変充実した活動であったことが伝わってきました。初めは後ろ向きがちだった子も、隊長をはじめとするメンバーの方や担任の熱く、時には厳しいご指導を受けながら徐々にできるようになっていく自分の姿を実感することによって、楽しくなっていました。難題に挑戦し、練習毎のスマールステップや振り返りを積み重ねながら大きな目標を達成したからこそ得られた自分の頑張りや「できる楽しさ」は一人ひとりの自己肯定感につながりました。さらに、保護者の方から認められ褒められたことは大きな誇りとなったに違いありません。学校では、結果だけにこだわらず、その過程（プロセス）を大切にしながら、子どもを育てていきたいと思っています。

6月18日、大阪の大地震において、学校のブロック塀の倒壊により小学校4年生のお子さんや子どもたちを毎朝見守ってくださっていた見守り隊の方などが亡くなられたことは、他人ごとではなく大変心が痛みました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。学校といたしましても、今後の大きな課題ですので、保護者の皆様、地域の皆様と連携を図りながら、子どもたちの安全が保障されますように努めていきたいと考えます。

月曜日に持ってくる荷物の中には、洗濯された体操服やアイロンがかかった白衣、ていねいに洗われた上履き（私は、子ども自身が洗うことをお勧めしますが）などが入っており、ご家庭の愛情やご苦労が詰まっています。そんなご家庭と学校をつなぐ通学路での不幸はあってはならないことです。より多くの目で見守っていただきますようお願いいたします。